

【総領事館からのお知らせ：ラマダン月のテロについての注意喚起】

●5月27日(土)頃から6月27日(火)頃まで、イスラム暦のラマダン(断食月)及びレバラン(断食明け大祭)に入ります。

●近年、ラマダン期間中に多数のテロが発生しています。最新情報の入手に努め、テロの標的となりやすい場所を訪れる際には、安全確保に十分注意を払ってください。

バリ州、NTB州、NTT州にお住まいの皆様へ
平成29年5月24日(総17第08号)
在デンパサール日本国総領事館

1 5月27日(土)頃から6月24日(土)頃まで、イスラム暦のラマダン(断食月)に入り(正式な期日は宗教省が決定・発表)、ラマダン終了後には約3日間(6月25日(日)頃から6月27日(火)頃)、レバラン(断食明け大祭)が行われます。

2 イスラム過激派組織ISIL(イラク・レバントのイスラム国)は、2015年及び2016年にラマダン月の間にテロを呼びかける声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、過去2年、ラマダン月に多数のテロ事件が発生しており、特に昨年は、邦人を含む多数の犠牲者が出たバングラデシュでのダッカ襲撃テロ事件や、トルコのイスタンブールでアタテュルク国際空港の襲撃などのテロ事件が発生しています。

また、最近では、爆弾や銃撃に加えて、車両やナイフを使用したテロや放火、窃盗など簡単に一般人を多数殺傷できるテロが呼びかけられています。

3 本年の現時点で同様の声明は確認されていませんが、近年、ラマダン月に多くのテロが発生していることを意識し、以下の対策をお願いします。

(1)最新の関連情報の入手に努める。

(2)テロの標的となりやすい場所(※)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等、安全確保に十分注意を払う。

(※)観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、ナイトクラブや映画館等の娯楽施設、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3)金曜日に注意して下さい。金曜日はイスラム教徒が集団礼拝を行う日であり、その際、モスク等宗教施設や群衆を狙ったテロや襲撃が行われることがあります。本年のラマダン月については、6月2日、9日、16日及び23日が金曜日に当たります。

4 なお、各種情報収集には「たびレジ」もご活用ください。当地に在住の方でも、別の国・地域に短期間渡航する際に「たびレジ」に登録すれば、渡航先の大使館などから最新の安全情報が届くほか、緊急時には登録された情報をもとに安否を確認し、必要な支援を得られます。

http://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_campaign/